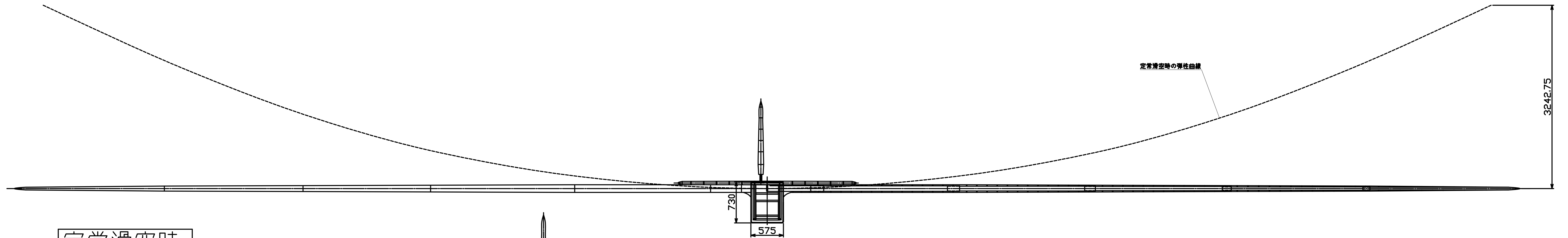
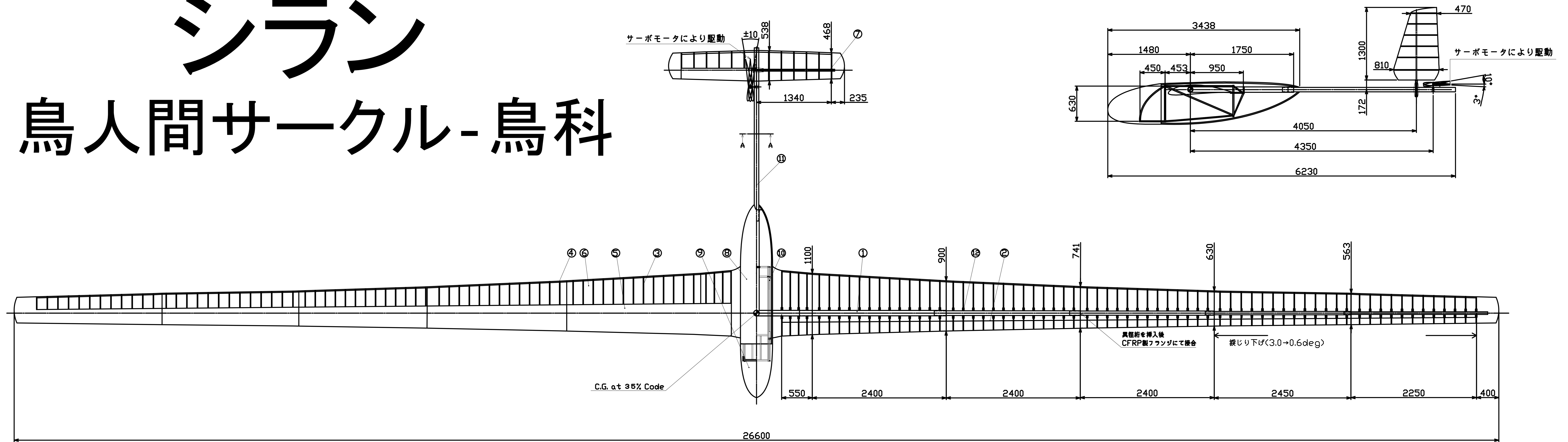
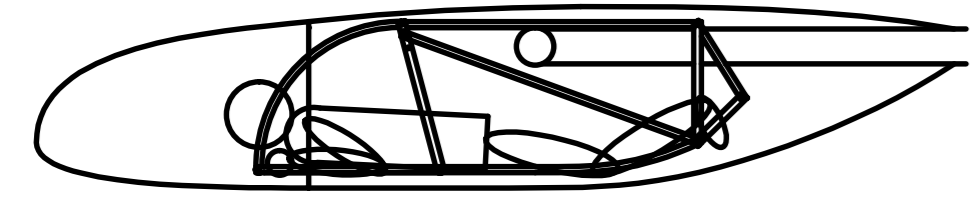


# シラン

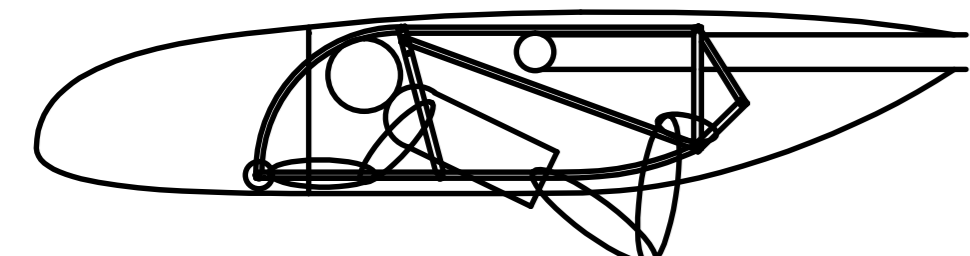
## 鳥人間サークル-鳥科



定常滑空時

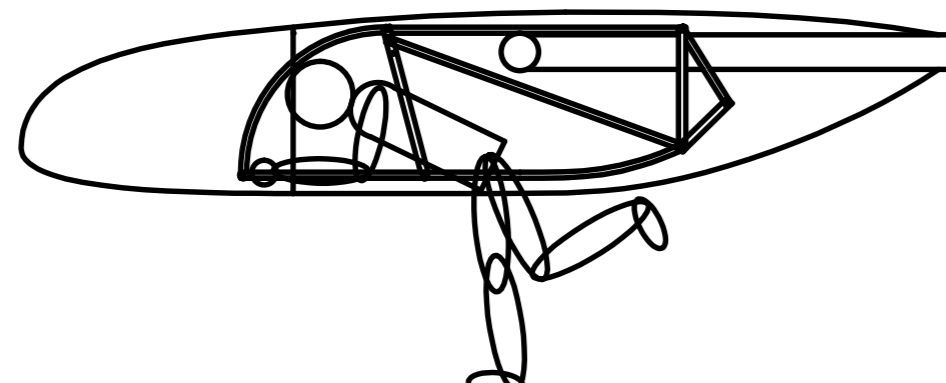


体重移動時



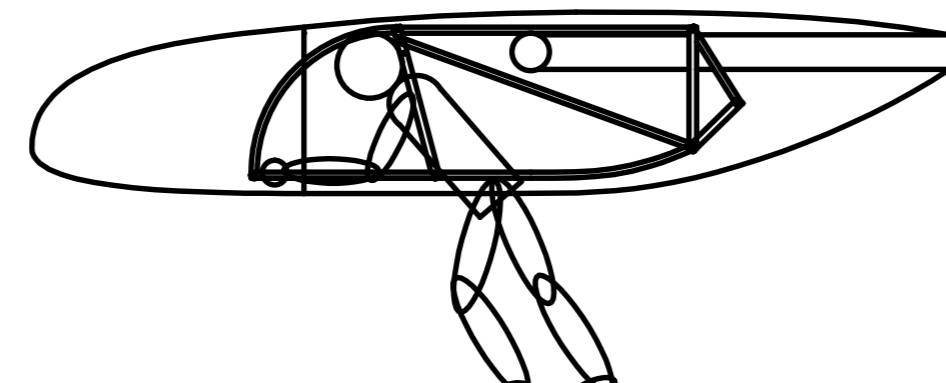
定常滑空時の姿勢から、体重移動時の姿勢には容易に移行できる。また、体重移動時の姿勢から足の保持を外すことで、脱出も容易にできる。

乗り込み時



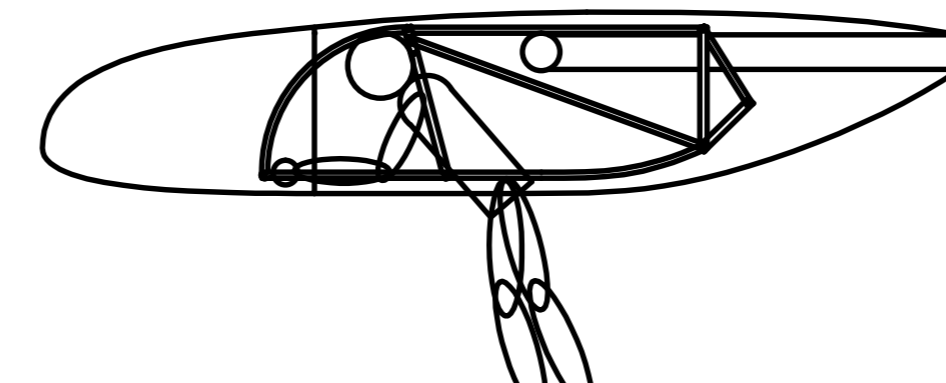
パイロットが腰位置のパイプを支点として体を前方に倒すだけで乗り込む設計のため、重心移動が少なく、安全かつ確実な乗り込みが可能。

自力滑走時



この間パイロットは機体を手、肘、肩、腰の4点で保持する。機体とパイロットの接触部及び各接合部は緩衝材で厚く覆う。

スタンバイ時



機体諸元 (定常滑空時)			
翼幅	26.6 m	水平翼型	NACA0012
全長	6.26m	翼面積	1.43 m <sup>2</sup>
空虚重量	38 kg	尾翼容積比	0.41
全備重量	98 kg	翼モーメントアーム	4.35 m
滑空速度	9.29m/s	垂直翼型	NACA0012
沈下速度	0.168m/s	翼面積	0.79 m <sup>2</sup>
重心位置	35% Code	尾翼容積比	0.0059
主翼取付角	3.0°	翼モーメントアーム	4.05 m
翼面荷重	4.90 kg/m <sup>2</sup>	操縦	ピッチングと重心移動と
主翼	翼型	EPPLER396	舵コントロール
		FX76-MP120	サーボモータ駆動
		EPPLER214	サーボモータ駆動
	翼面積	19.9 m <sup>2</sup>	方
	翼縦横比	35.4	法
	平均空力翼弦	809 mm	

No	品名	材料
①	主翼桁	CFRPパイプ
②	縦通材	ヒノキ材(4mm × 4mm)
③	リブ	発泡スチロール(バルサ材にて補強)
④	翼後縁材	ヒノキ材(30mm × 1mm)
⑤	翼前縁部外皮	ステンパーパー
⑥	翼外皮	ポリプロピレンフィルム
⑦	尾翼桁	CFRPパイプ
⑧	カウル外皮	発泡スチロール + オラカバシート
⑨	カウル前面	塩化ビニル
⑩	コックピット構造材	アルミパイプ + ウレタン製緩衝材 + 発泡ポリエチレン製パイプ
⑪	胴体	CFRPパイプ
⑫	ウェブ材	発砲スチロール

図名	シラン	尺度	1:25	投影法	第一角法
作図	2014年2月27日	東京理科大学 鳥人間サークル-鳥科			
パイロット	戸端 佑太	製図者	小林 大晃		
設計者	戸端 佑太【主任】	小林 大晃			